

■平成 24 年度 総会の開催

□平成 25 年 2 月 9 日(金)13 時 50 分より

□高知会館

□参加者数 CPD セミナー及び公開講座 53 名
(内一般参加 4 名)

修習技術者セミナー 43 名

祝賀会 39 名(新規合格者 15 名)

本年度の総会は、公益法人日本技術士会四国本部の技術士一次試験合格者祝賀会を兼ねており、CPD セミナー、公開講座、修習技術者セミナー、一次試験合格者祝賀会と盛りだくさんの内容で開催された。

CPD セミナーに先立って、技術士一次試験合格者 17 名の自己紹介があり、続いて、右城代表幹事より開会の挨拶があった。



一次試験合格者による自己紹介



右城代表幹事の挨拶

CPD セミナーは、「私の経営理念」と題して、四国運輸株式会社 小川代表取締役社長より講演を頂いた。

□「私の経営理念」四国運輸株式会社 代表取締役社長 小川 雅弘

小川社長からは、自己紹介として現在 52 歳で四国運輸(株)の代表取締役社長を務め

るかたわら土佐経済同友会代表幹事も務められていること、会社紹介として入社当時は赤字であったが、その後 26 年間黒字となっていること等のお話があった。次に、稲盛和夫の経営理念から学んだこととして、企業の発展とその繁栄を持続させるためには、経営に哲学が必要であり、その哲学を企業内で確立し、従業員と共有することが大事であること。人生哲学・経営哲学の変遷として、ジョセフ・マーフィーは「よいことを思えば、よいことが起こる。悪いことを考えれば、悪いことが起こる」、中村天風も「悪を思えば悪が来、善を思えば善が来、弱く思えば弱くなり、強く思えば強くなる」ということ言っていること。松下幸之助の「素直な心」が大切であること。稲盛和夫さんが推奨した安岡正篤の本での言葉として「自分が思いさえすれば運命は変えられる。」が印象的でした。稲盛和夫さんの「強烈な願望を心に抱く」等の経営の原点 12 ヶ条について、追っかけをやっていた船井幸雄さんの幸せの三条件や成功の三条件について、浅野善起さんの「会社や組織は生きものであり短所はなくなるならない。長所を伸ばすことが大事ある」等についての話して頂いた。最後に、「良き思いを持つことで人生が変わる。」という言葉頂いた。

以上のように、今後会社を発展・持続させるための貴重なお話を頂いた。



小川社長の講演

公開講座は、「高知県のおもてなし～本当にある「おもてなし課」の取組から～」と題し

て、高知県観光振興部 おもてなし課 中村課長より講演を頂いた。

□ 「高知県のおもてなし～本当にある「おもてなし課」の取組から～」 高知県観光振興部 おもてなし課課長 中村 智砂

中村課長からは、おもてなし課が平成 19 年度に観光客をお迎えする環境を整えるために新設され、現在、6 人体制で業務を行っている(臨時職員、非常勤職員を入れても 8 名)。高知県出身の作家有川浩さんが高知観光特使に就任された際に、県庁職員の仕事の進め方やスピードなどに民間感覚とのずれを感じ、そこから小説「おもてなし課」が誕生し、映画化された。県庁の渡り廊下に映画のロケセットを設置し、周遊の拠点に考えているとのこと。

高知県には 28 の観光ガイド団体があり、多くの観光ガイドさんが活躍しているとともに、高知県ではその育成と支援を行っている。

また、お客様の満足度調査結果で、満足度の低かった公共トイレとタクシーについてピンポイントでその向上に取り組んでいる。トイレについては一定の基準を設け、公募により「おもてなしトイレ」の認定を行い、満足度の向上に努めている。タクシーについても試験を行い、おもてなしタクシー(観光ガイドタクシー)を認定し、接客の向上に努めるとともに、そのフォローとして調査員が降車客から直接話を伺い、その結果をタクシー会社に報告し、さらなる接客の向上に努めていること。

「おもてなし」の三配りとは、目配り、気配り、心配りであり、観光客が期待し満足することは、「出会いを以ってご縁をつむことを成す」ことである。

観光客は、7 割ぐらいが旅先で計画を見なおしており、旅先での観光情報が大事であり、高知県の観光情報としては、リョーマの休日キャンペーン、エリアキャンペーン、龍馬パスポート等があり、そのうち龍馬パスポート

は 25,000 冊以上発行され、人気を得ている。

以上のように、おもてなし課の誕生、映画化の話、高知県で観光客の満足度向上のために取り組んでいること等、大変興味深いお話を頂いた。



中村課長の講演

修習技術者セミナーは、「技術士と技術士試験制度について」と題して、四国本部修習技術者支援委員会の吉村委員長より講演して頂いた。また、「日本技術士会の四国本部の紹介」を事業委員会の小川副委員長より、「青年技術士会の取組について」を四国本部青年技術士交流会の小笠原さんより説明を頂いた。

□ 修習技術者セミナー「技術士と技術士試験制度について」 四国本部修習技術者支援委員長 吉村 和司

吉村委員長からは、技術士と技術士制度として、技術士の 3 義務・2 責務、技術士の要件・特徴、技術士ビジョン 21、技術士の職業的位置付け等について、また、JABEE 認定課程修了者と技術士として、JABEE の基本思想、JABEE 認定課程修了者の技術士試験との関係、技術士補・修習技術者について等のお話があった。

技術士第一次、第二次試験の概要として、試験内容の変遷、大幅に変更となった平成 25 年度の第一次試験及び第二次試験の試験科目内容について説明があった。

また、「技術士になって」として、アンケート調査をもとに、技術士を目指す理由、技術士が実感しているメリットについての説明もあった。



吉村委員長の講演



小笠原会員の講演

□ 「公益社団法人 日本技術士会四国本部
の紹介」 四国本部 事業委員会副委員長 小川 修

小川副委員長からは、日本技術士会の会員数、各本部の会員数、四国本部のビジョン、事業方針、事業計画骨子、四国本部の組織、各委員会等について説明があった。また、日本技術士会の入会案内として、入会条件、入会金、年会費についても説明があった。



小川副委員長の講演

□ 祝賀会

祝賀会は、山本副代表幹事の挨拶・乾杯で宴が始まり、会員同士の懇親を深め、古屋幹事の中締めで閉会した。



山本副代表幹事の挨拶・乾杯



祝賀会の様子

□ 「公益社団法人 日本技術士会青年技術士会の取組について」 四国本部 青年技術士交流会 小笠原 誠

小笠原会員からは、全国の青年技術士交流会、四国本部の青年技術士交流会の発足・会員数、四国本部青年技術士交流会の活動目的・活動方針・活動状況について説明があった。また、青年技術士交流会等の社外活動のメリットとして、いろいろな分野の技術者が集まり、幅広い知識の習得が可能な場となる等の説明もあった。



祝賀会の様子